

衣類のお手入れ通信

お札の平均寿命をご存じですか。一万円札は4～5年、千円札や五千円札は1～2年だそうです。千円札と五千円札はつり銭のやり取りなどで使用頻度が高く傷みやすいため、一万円札の寿命より短いのだとか。物も人間もたくさん使えばくたびれます。今年も頑張ったみなさん、年末年始はゆっくり休養してくださいね。

【衣料品のようで実は雑貨品に分類されるものとは】

大掃除の時期が近づきました。暖簾（のれん）やカーテン、テーブルクロスなど、普段は洗わないものをきれいにして年を越したくなりますね。

しかし、「暖簾を家庭の洗濯機で洗ったら色が落ちてしまった」「暖簾をコインランドリーの乾燥機で乾かしたら裂けてしまった」という相談を受けることがあります。また、テーブルクロスやカーテンなどは、極端に縮んでしまったり破れたり、なにかとトラブルが多いようです。こういったものは私どもクリーニング業者が取り扱った場合でも、普通の衣料品と同じように洗ってしまいますと、ご家庭で洗濯した場合と同じ結果になることがあります。では、洗濯のプロの我々が洗ってもトラブルが起きるならば、製品に欠陥があるのでしょうか。ところがそうとはいえないのです。

実は、暖簾もカーテンもテーブルクロスも、家庭用品品質表示法においては繊維衣料品ではなく雑貨品の部類に入ります。他にネクタイ、リボン、法被（はっぴ）などもこの部類に入ります。そもそも衣料品と雑貨品の品質基準はまったく違います。法的には衣料品は着用、洗濯を繰り返しても最低品質基準を保てるものでなくてはならないと定められています。しかし、雑貨品は洗濯に関しては基準がありません。ですから、洗濯に耐えるように製造されていなくても法的にはまったく問題ないのです。では、なぜ私どもなら洗濯が可能なのかと申しますと、これらの製品を洗う場合、細心の注意をはらっているだけではありません。洗ったときに変形したり縮んだりしたものは、アイロン技術で整形します。ネクタイなどは、洗うと縫製糸が解けて型崩れするものもありますので、縫製しなおして元の形にしてお渡しするわけです。しかし、年月が経って劣化しはじめた雑貨品は我々が細心の注意をはらって洗っても、破損や脱色がおこる危険性があります。

長くお使いの雑貨品を洗濯に出される際には、その旨をひと言ご相談いただけると幸いです

定休日：日曜日・祝日 営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田 1-6 TEL・fax0567-26-9880 <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博

愛知県愛西市、弥富市、蟹江町、飛島村、津島市、集配致します。